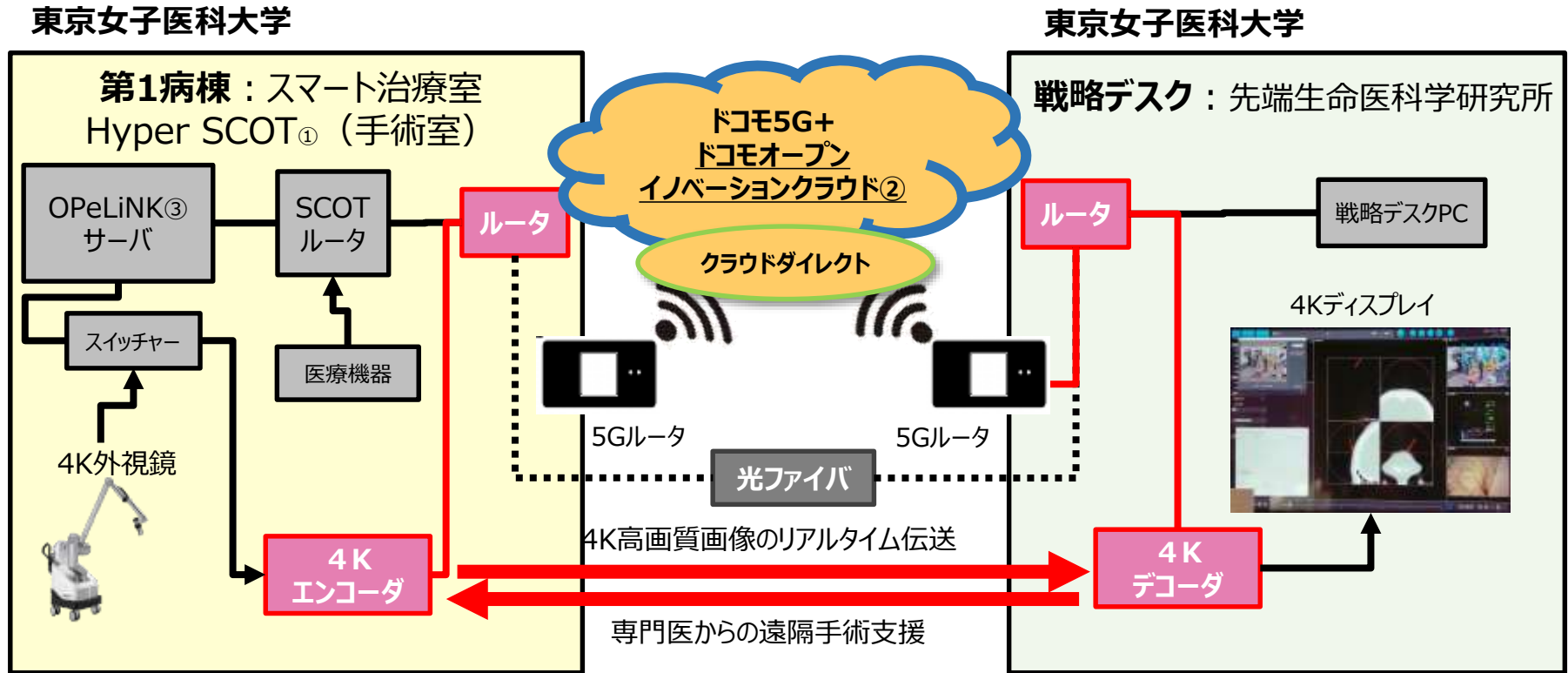


・東京女子医科大内「スマート治療室」と専門医の「戦略デスク」を、国内で初めて商用の5Gネットワーク環境を通じてドコモのクラウドサービスに接続し遠隔手術支援を行うシステムを構築。スマート治療室での脳外科手術を行う執刀医の手元映像や、MRI等大容量の高精細映像や医療情報を、専門医が見る端末へリアルタイムで送信し適切なアドバイスを行う。このサービスで得た知見により将来、先進医療の現場での活用や、地域の医療課題(医師不足、診療科偏在)解決が期待できる。



- ①「SCOT」はSmart Cyber Operating Theaterの略で、東京女子医科大学が主導して、広島大学、信州大学、デンソー、日立製作所など11社と共に、IoTを活用して各種医療機器・設備を接続・連携させ、手術の進行や患者の状況を統合把握する「戦略デスク」の導入により、手術の精度と安全性を向上させる「スマート治療室」。
- ②ドコモオープンイノベーションクラウドは、5G時代に求められる低遅延、高セキュリティなどMEC (Multi-access Edge Computing) の特長を持つクラウドサービス。
- ③OPeLiNK(オペリンク) : ORiN協議会の管理する産業用ミドルウェアORiN (Open Resource interface for the Network) を医用に転用したもの。通信規格やメーカーを問わず、各機器を接続・統合可。

* 「SCOT(Smart Cyber Operating Theater)」は、学校法人東京女子医科大学の登録商標です。
 * 「ドコモオープンイノベーションクラウド」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
 * 「OPeLiNK」は、株式会社OPEXPARKの登録商標です。